

ふじやまだより

第21号

発行 2004年

9月15日

本郷

ふじやま公園

運営委員会



柿



ヒョウタン

ふじやま公園 実りの秋 もうそこまで秋は来ています



ツバキ



カシ



トウモロコシ



ウコン



ホケ



ナツメ



サイイモ

「お知らせ」

秋の工作祭り

- ・ 日時: 10月16日(土) 10時~15時
(雨天の場合 翌17日(日)に順延)
- ・ 内容: 公園の竹を使った工作
(野菜鉄砲、笛、プランター、ポックリ等)
布ぞうり、ゲーム、紙芝居等
- ・ 参加費: 無料(自由参加・申し込み不要)



刺し子教室(全3回)

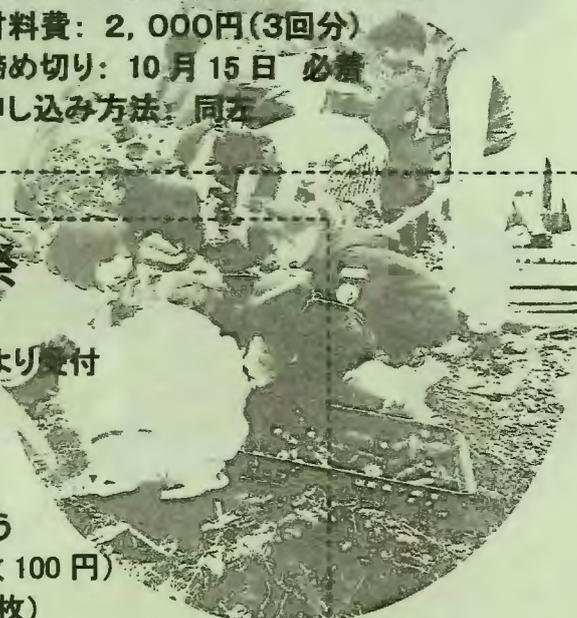
- ・ 日時: 10月20日、27日 11月24日
各水曜日 13時~16時
- ・ 内容: クッションカバー、ポーチ等
- ・ 定員: 12名(応募者多数時抽選)
- ・ 材料費: 2,800円(3回分)
- ・ 締め切り: 10月15日必着
- ・ 申し込み方法: 次ページ参照(共通)

布細工教室(全3回)

- ・ 日時: 10月26日(火)、11月10日(水)、
12月2日(木) 13時~16時
- ・ 内容: 干支の酉(つがい)、正月飾り“串馬”
- ・ 定員: 12名(応募者多数時抽選)
- ・ 材料費: 2,000円(3回分)
- ・ 締め切り: 10月15日 必着
- ・ 申し込み方法: 同左

ふじやま農園収穫祭

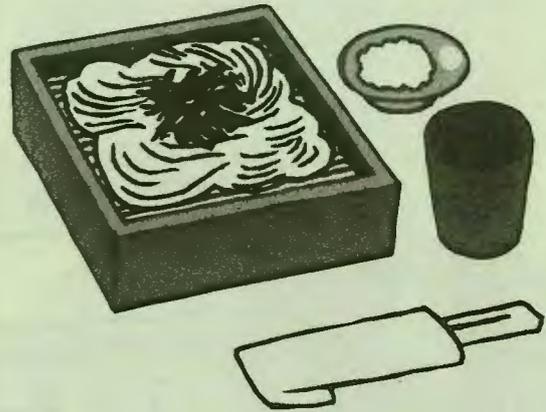
- ・ 日時: 11月6日(土) 11時~13時 10時30分より受付
(雨天の場合 翌7日(日)に順延)
- ・ 内容: 里芋、さつま芋の収穫から体験
「当日先着30名(小学生対象)」
里芋の入ったふじやま鍋・石焼いもを味わう
(当日先着順に各150枚の券を販売 一枚100円)
収穫した野菜を抽選でプレゼント(1家族1枚)
花壇の花の種をご希望の方に無料頒布(数量に限りがあります)



特集」

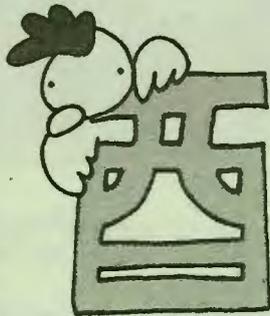
布ぞうりづくり体験教室

- ・ 日時: 11月21日(日) 10時~15時
- ・ 定員: 15名(応募者多数時抽選)
- ・ 材料費: 300円(布ぞうり1足分)
- ・ 持参するもの: 弁当、ポロ布
- ・ 締め切り: 10月31日必着
- ・ 申し込み方法: 本ページ参照(共通)



里山のそば打ち塾

- ・ 日時: 11月27日(土) 10時~13時
- ・ 定員: 12名(応募者多数時抽選)
「前回までの当選者は応募をご遠慮下さい」
- ・ 材料費: 700円(打ちあがり3人分)
- ・ 締め切り: 10月31日必着
- ・ 申し込み方法: 本ページ参照



往復ハガキに、教室名、氏名(ふりがな)、〒、住所
電話番号を書いて、締め切り期限までに
本郷ふじやま公園事務所へ申し込み下さい。

申し込み方法(共通)

粘土工芸(全4回)

- ・ 日時: 10月29日、11月5日、19日
12月3日 13時~16時
- ・ 内容: クリスマスツリーとサンタクロース
- ・ 材料費: 2500円
- ・ 締め切り: 10月20日必着
- ・ 申し込み方法: 本ページ参照(共通)



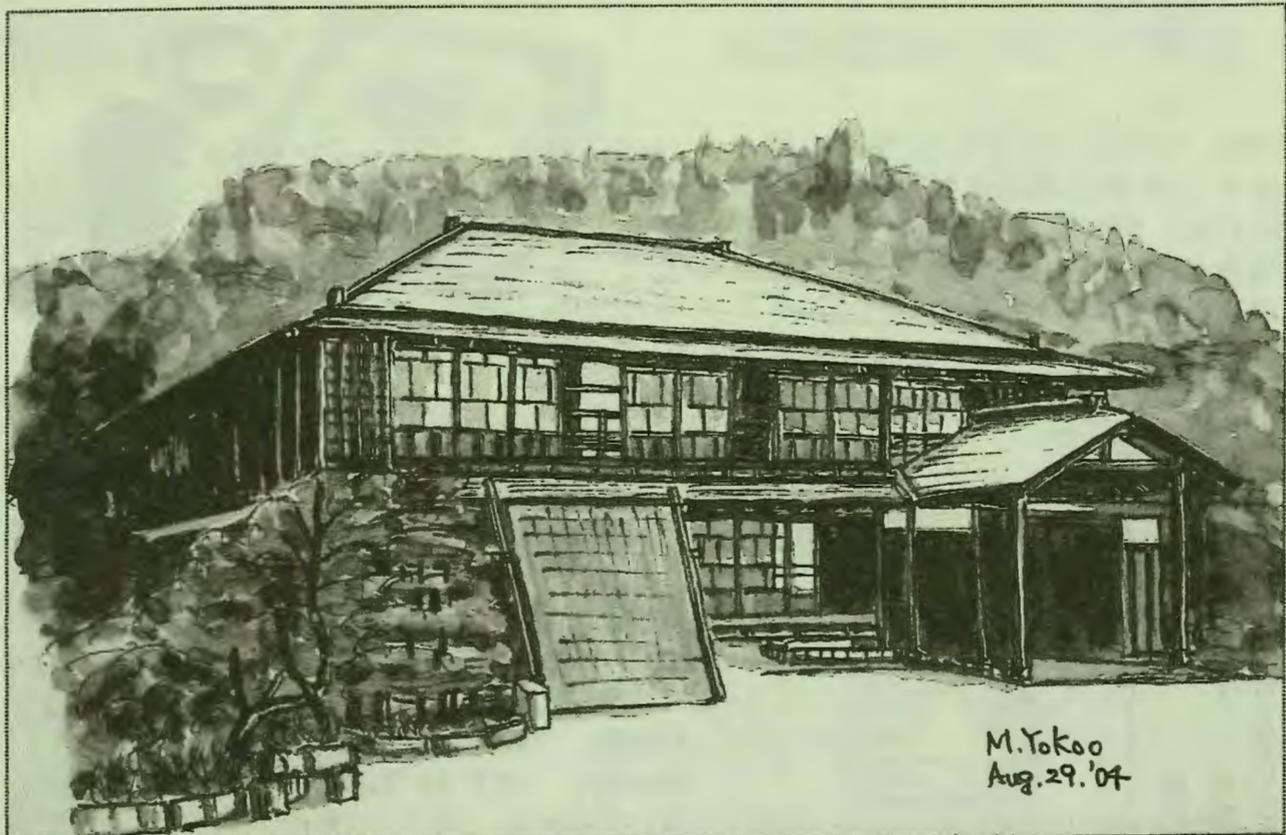
- ・ 休館日 : 10月6日(水)
- ・ クリーンアップ作業日・時 : 10月5日(火)、10月19日(火) 10時~11時
- ・ いろりを焚く日・時 : 10月3日(日)、10日(日)、13日(水)、27日(水)、28日(木) 9時半~12時

古民家ゾーン ご利用案内

- ◎開館時間 : 9:00~17:00
- ◎休館日: 毎月第1水曜日(祝日の場合はその翌日)
- ◎入館料: 無料

- ◆ 本郷ふじやま公園運営委員会
〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20
Tel:896-0590 Fax:896-0593
- ◆ 緑政局中部公園緑地事務所
Tel:711-7802 Fax:712-6260

古民家スケッチめぐり (その5)



市営地下鉄「下飯田」駅の改札を出て、まっすぐに横断歩道を渡り、駐車場横の4, 5m幅の道を下りると和泉川に突き当たります。川沿いに右折し、四谷橋、赤坂橋、鍋屋橋まで来ますと、左前方の田圃の彼方に天王森泉公園のうっそうとした森が見えてきます。駅から徒歩25分、2,680歩の距離です。天王森泉館はこの公園の一角を占める「湧水の森」の中にあります。明治44年清水製糸場の本館として建設されたものを、平成9年公園整備に際して、製糸場本館当時の姿を再現し、「天王森泉館」と名づけたものです。

一階の間取りは明治期の横浜近在の農家に見られた四ツ間取りの流れをくんでいますが、玄関を入った所にある帳場が商いの場として特徴的です。当時は二階建てが好まれ、二階は接客の場として使われました。そこから晴れた日には富士山が鮮やかに見えるそうです。ここの自慢は涸れることない湧水です。本館

の裏庭のわさび田のあたりから湧き出し、生態池を経由し、本館の横を流れています。子供たちがその流れに入り、蛙取りに興じていました。なんとも羨ましい夏がよく似合う「湧水の森」です。事務局長さんの言では、ここで「蛍の夕べ」を開催したところ、三日間で4千人もの人が集まり、押すな押すなの盛況だったそうです。座敷に大勢の親子が集まって何やら、大きな紙に書いています。午前中に行った「水辺の観察会」の成果を纏めているところです。「ここの辺りの子供は普段から自然に恵まれすぎているから、少々のイベントでは集まらない」との事ですが、自分で採った「カブトムシ」に相撲をとらせる「かぶとむし合戦」は大変な人気だそうで、一度この目で見てみたいものです。ヴォランティアの人達の裏庭での「ゆんたく」の仲間に入れていただき、自作のスイカをご馳走になりながら、暑さをしばし忘れしました。(完)

投稿のお願い 広く皆様からの「ふじやまだより」への投稿をお待ちしております。俳句でも川柳でも、「ふじやま古民家」に関する気になるトピックスでも、「ふじやまだより」に対するご意見、ご感想でも、「ふじやまだより」が、より皆様の身近なものになりますようにご協力下さい。 広報部会長